

【4-6】

湾・灘の区分	周防灘
取組の名称	漁場環境の保全
事業期間及び事業費	事業期間:H28～R4 事業費:950 百万円
事業体制	<p>【事業全体の管理】 山口県農林水産部漁港漁場整備課</p> <p>【事業実施に関する漁業関係者との調整】 各農林水産事務所水産部</p> <p>【漁場整備後の状況を把握する調査】 漁場整備後の状況を把握する潜水調査、標本船日誌に係る調査は水産研究センターが実施。</p>
事業の背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> キジハタ、メバル、カサゴ等の定着性魚類の資源管理及び種苗放流が推進されているが、藻場の減少、底質の悪化等により、その効果が阻害されている。 このため、これら定着性魚類の産卵場、稚魚の生息場となる増殖場を整備し、資源管理及び種苗放流の効果を促進し、水産資源の増大を図る。
事業場所の詳細	<p>山口県宇部市、山口市、防府市、周南市、下松市、光市、田布施町、平生町、上関町、柳井市</p> 
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 藻場・干潟の保全・再生 資源管理と連携した漁場整備  <p>投石による藻場造成</p>  <p>アカモクに群れる稚魚 (岩国市)</p>

<p>モニタリング方法(効果・影響の確認方法)</p>	<p>今後、下記のとおりモニタリングを行う予定である。 ※本事業は、現在実施中であり、モニタリングの内容は、今後決めるため、モニタリング項目は変わる可能性がある。</p> <p>【潜水調査】 ○調査項目： 魚礁の設置状況、目視による生物調査(海藻類、魚類、その他の底生生物)など ○調査時期・頻度： 未定 ○調査場所： 魚礁設置場所 ○モニタリング方法： 魚礁の設置状況、目視による魚類の蝸集・海藻の繁茂状況等を確認する。</p> <p>【標本船日誌に係る調査】 ○調査項目： 対象魚種を漁獲する漁業者の漁獲状況 ○調査時期・頻度： 周年 ○調査場所： 魚礁設置海域 ○モニタリング方法： 対象魚種の漁獲動向を確認する。</p>
<p>取組による効果・影響及びその判断基準等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・浅場において、餌料供給機能及び隠れ場機能を有した魚礁を設置するとともに、藻場機能を有する幼稚魚の成育場や産卵場となる魚礁を整備することで、資源管理及び種苗放流の効果を促進し、水産資源の増大が図れる。 ・効果等については、設置した魚礁周辺の定着性魚類の生息状況と海藻の定着状況により判断する。
<p>モニタリング結果の活用方法</p>	<p>モニタリングの結果を受けて、次期漁場整備事業の計画策定の参考とする。</p>
<p>関係機関等における連携・情報共有の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水産振興課の水産多面的機能発揮対策事業による漁場保全活動などのソフト対策と漁港漁場整備課のハード事業(藻場造成事業)が一体的に行われるよう、漁港漁場整備課と水産振興課は適宜、情報の共有を図っている。
<p>現状での課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸域においては、底質の悪化、藻場の減少が見られており、水産資源の再生産に悪影響を及ぼしている。 ・小型魚保護等の資源管理及び種苗放流が推進されているが、上記の影響もあり、その効果が阻害されていることから、放流適地の整備が必要とされている。
<p>今後の予定等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、増殖場を整備し、資源管理及び種苗放流の効果を促進し、水産資源の増大を図る。
<p>取組事例についての発表資料等</p>	<p>瀬戸内海環境保全小委員会(第15回)資料</p>
<p>情報提供元</p>	<p>山口県</p>